

PICK UP MOVIE



© 2019 Haut et Court – Razor Films Produktion – France 3 Cinema visa n° 150 076

悪なき殺人 ONLY THE ANIMALS

[2019年/フランス=ドイツ/フランス語・ヌシ語/116分] R15+
監督:ドミニク・モル 出演:ドゥニ・メノーシェ、ロール・カラミー、ダミアン・ボナル、ナディア・テレスキウィツ、パステリアン・ブイヨン、ギイ・ロジェ・“ビビーゼ”・ンドゥリン、ヴァレリア・ブルーニ・テデスキ

“人間は、「偶然」には勝てない——”

この物語は、ある女性の殺人事件から始まる
・・・はずだった。偶然の連鎖で翻弄される運命を、
誰が予想できただろうか



悪なき殺人 ONLY THE ANIMALS



人間は「偶然」には勝てない——

フランスの山中にある寒村で、一人の女性が失踪し殺された。疑われたのは農夫・ジョゼフ。ジョゼフと不倫する女・アリス。妻のアリスに隠れてネット恋愛する夫・ミシェル。そして遠く離れたアフリカで詐欺を行うアルマン。秘密を抱えた5人の男女がひとつの殺人事件を介して絡まり合っていく。だが、我々はまだ知らない・・・この事件がフランスから5000kmも離れた場所から始まり、たったひとつの「偶然」が連鎖し、悪なき人間が殺人者になることを。

この世の現実が、すでにミステリーだ

私たちは便利なツールとして日々インターネットを使っているが、その背後にある広大なサイバー空間の危うさをほとんど意識しない。地球規模で拡大する貧富の格差も、誰もが知っていながら打開策は一向に見当たらない。そんな掴みどころのない現代社会では、この作品に描かれたような不意の出来事は、もしかするとありふれているのではないか。

フランスの雪に覆われた山あいの村で、パリからこの別荘に来ていた女性が忽然と姿を消した。村の純朴な警官が聞き込み捜査を始める。牛の飼育をしている夫妻、妻が共済組合の仕事で訪れる山奥でひとり住まいの羊飼いの男。静まり返った侘しい冬景色のなかで、彼らがそれぞれ自分の欲望にある意味では振り回され、ある意味では率直に向き合い、秘密を抱えて生きることがあらわになっていく。

失踪した女性がこの村に来たときに、激しい恋情に駆られて彼女を追ってきた若い女性がいた。二人は別れ話をめぐって怒鳴り合いをした。が、失踪女性がその後どうなったかは若い女性はまるで知らない。

ところが実は、この事件の発端は現場から5000キロも離れた赤道間近の地、コートジボワールの旧首都アビジャンにあった。猥雑な街並みに太陽が暑く照り返し、人々は日々食べるのに精一杯だ。かつてフランスの植民地だったせいで、多くの人が流暢にフランス語を使う。旧宗主国フランスの経済的搾取はいまなお続き、人々の心を時に深く傷つける。ある若者が、金欲しさにインターネットで振り込め詐欺を働いた。ネット上でみつけた若い女性の画像を使って彼女に成りすまし、行き当たりばったりに男を疑似恋愛へと誘い込み大金を振り込ませたのだ。

登場人物それぞれの数日の行動を追ううちに、事件の経緯がジグソーパズルのように明らかになっていく。スリリングなストーリー展開は見事だ。しかもこの上質なサスペンスドラマは、情報は溢れているが実体になかなか触れられない現代社会のありさまを、巧みにあぶりだしている。

tamura shizue
田村志津枝

ノンフィクション作家。一方で大学時代から自主上映や映画制作などに関わってきた。1977年にファスビンダーやヴェンダースなどのニュー・ジャーマン・シネマを日本に初めて輸入、上映。1983年からハウシャオシエンやエドワード・ヤンなどの台湾ニューシネマ作品を日本に紹介し、その後の普及への道を開いた。

[上映日程] 12/4~24
(休映:12/13、19~20)